

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6 年 5 月 30 日

事業所名 乳幼児親子教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	0	0		
	②	職員の配置数は適切である	5	0	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	4	0	1		
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	5	0	0	定期的な職員会議で 周知・徹底できるよう にしている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5	0	0	ガイドラインの評価を 受けて改善すべき点 を伝えている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	0	0	ホームページで公開 している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	0	0	3年に1度行ってい る。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	5	0	0	乳幼児期以降のもの として幅広い内容の 研修や勉強会を行っ ている	
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	保護者の意向を受け て計画を作成してい る。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	職員全体で話し合っ ている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	0	0	保護者の意向も踏ま えてプログラムを工 夫している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	0	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	5	0	0	公認心理士の指導を 受けて計画を作成し ている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	5	0	0	子どもを受け入れる 前に話し合う時間を 作っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5	0	0	毎日、反省会を行い 話し合う時間を取っ ている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	個人記録やクラスの 日誌など様々な記録 を取っている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	5	0	0	子どもの現状につい て細かな事も日々、 出し合っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っている	5	0	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	5	0	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	5	0	0	必要があれば保護 者を通して行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	0	2		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	同法人内から上がっ てきた子どもの情報 共有はしている。	放課後等デイサービス事業から 利用開始した子どもについて は、今後情報共有を図ってい きたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	1	0	1	対象年齢の方が通 所していない。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	0	0		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	3	0	2		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	4	0	0	施設長が参加してい る。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	5	0	0	送迎時、連絡帳、面 談等で細かく話して いる。難しい事は、教 室で行いやり方等を 伝えている。	
保護者への説	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	4	0	1	面談や相談支援、心 理指導、懇談会等 様々な機会を設けて いる。	
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5	0	0	年度初めに説明会や 保護者会で伝えている。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	適宜相談に応じてい る。	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	5	0	0	保護者会、勉強会、 交流会等の場を設け ている。	
㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	5	0	0	その場、あるいはそ の日のうちには対応 するようにしている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明責任等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	月1回、ニュースとカレンダーの発行をしている。その他、掲示板にも情報を貼り出している。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	5	0	0	保護者にも個人情報の扱いについて同意を得るようにしている。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	保護者にも個人情報の扱いについて同意を得るようにしている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	0	おまつりを年に1回行っている。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0	合同職員会議で行っている。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	3	0		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	年に1回行っている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	1	保護者から指示書のコピーをもらっている。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	ヒヤリハットは小さな事でも書くようにし、ファイルは職員が閲覧しやすいようにしている。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。